

豊後大野市 みらい戦略プラン

基本構想 2026▷2033
(令和8年) (令和15年)

基本戦略 2026▷2029
(令和8年) (令和11年)

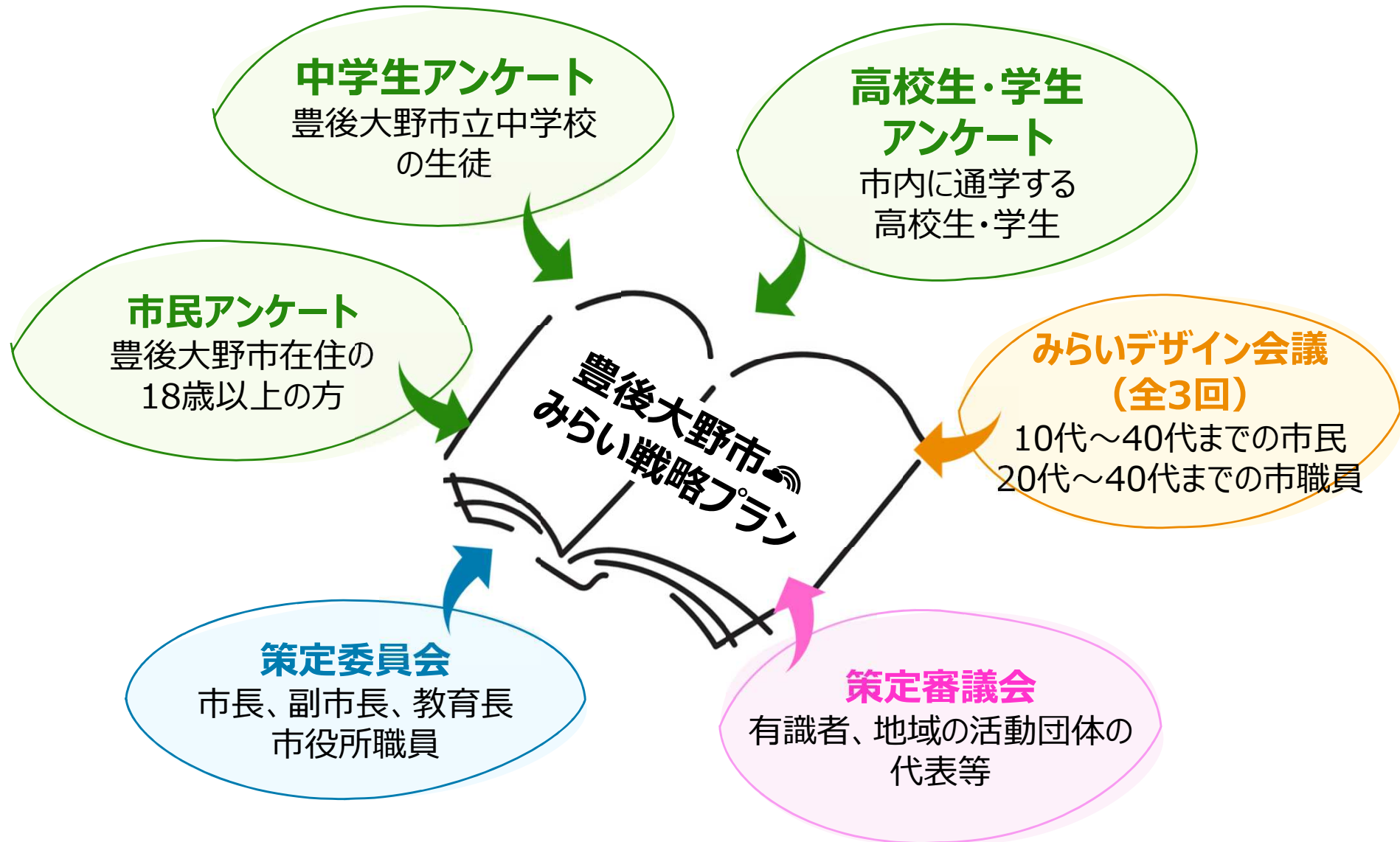
概要版



第3次豊後大野市総合計画
第3期豊後大野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

 令和8年3月

まちづくりに関わる人の想いを詰め込んだ戦略



みらい戦略プランの3つのポイント

01 総合計画と総合戦略を一体化

まちづくりの最上位計画である「豊後大野市総合計画」と人口減少対策である「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく取組を、今後より一層推し進めるため、この2つのまちづくりの計画の1つに整理し、**具体的かつ実効性の高い計画**としています

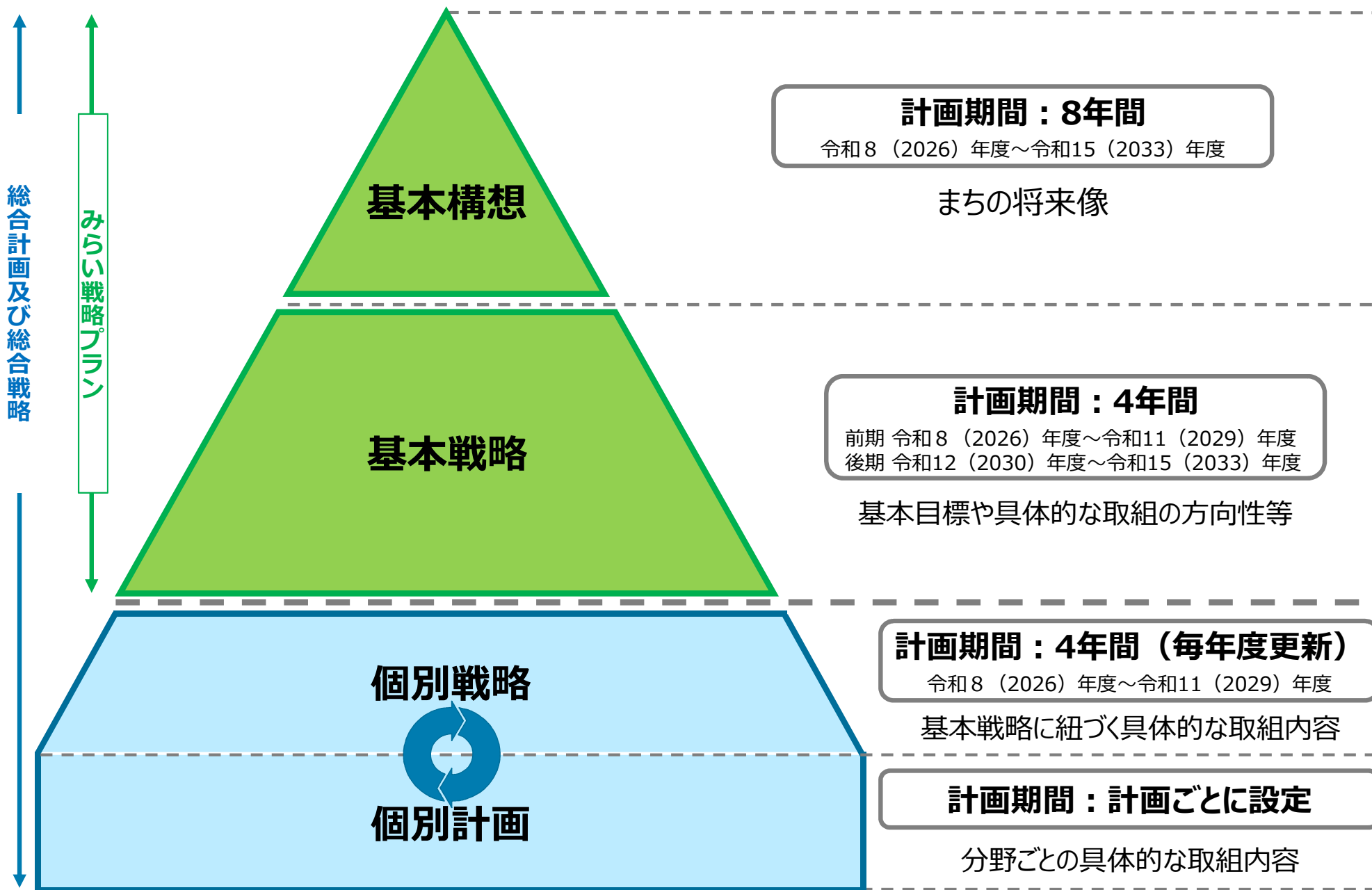
02 人口減少対策に特化

本市の人口減少は想定よりも早いスピードで進んでおり、急激な人口減少の波は避けられない現実として迫ってきているため、**この人口減少に正面から向き合い、重点的に取り組むべき施策に特化**した計画とします

03 市の取組全体を体系的に整理

みらい戦略プランに**各分野で策定している個別計画を紐づけ**、みらい戦略プランに重点的に取り組むべき施策として掲げられていないものも含めて**市の取組全体を体系的に整理**し、関連する施策や取組を連携させながら推進します

みらい戦略プランの構成



「基本構想」

目指すまちの将来像

まちの将来像



七色に輝け 豊後大野！ ～豊かさを自慢できるまち～

- 市内にある**7つの町それぞれの魅力や個性**が色とりどりに輝きながらも、**1つの大きな虹となり、いつまでも輝き続ける**ことを願った言葉です
- 本市に関わる全ての人**が活躍できるまち**を目指し、地域の人々がつながり、先人からつながれてきた伝統を守りながら、新たに生まれる挑戦を温かく応援する、**みんなで「七色に輝く未来」を創っていくという想い**を込めています
- 「豊後大野」を構成する**1つ1つの文字**には、**次の想い**が込められています

豊	まちの強みである自然や食の 豊 かさを大切にしたい
後	まちの財産を 後 の世代へとつなぎたい
大	地球の営みによって育まれた 大 地を活かしたい
野	野 心的かつ戦略的に、未来に向かって歩んでいきたい

「基本戦略」

みらい戦略プランの4つの基本目標

基本目標1

豊かなくらしとしごとを創る

「しごと」は、生活を安定させるためだけでなく、日々の「くらし」をより豊かに輝かせてくれます。

豊かな「しごと」は、豊かな「くらし」を送るために必要不可欠であり、輝く「くらし」を実現するには、「しごと」が充実していなければなりません。

すなわち、「しごと」と「くらし」の良好な相関関係は、多様な「生き方」を実現させるための鍵となり、快適で幸せなまちの礎となります。

本プランでは人々が希望する「しごと」に就き、やりがいを感じながら楽しく働き、暮らすことのできるまちを目指します。

基本目標2

豊かなひとを育む

楽しく働き、暮らすことのできるまちを実現するためには、本市を支える「ひと」を育むことが必要です。

まちの活力の源泉は「ひと」であり、市内、市外に関わらず、まちを支える「ひと」の好循環を生むことが重要です。

本市の未来を担う「ひと」が生まれ、地域を支える「ひと」として育ち、全ての「ひと」が輝くことによって、地域の課題解決や持続的な発展が実現するまちを目指します。

まちの将来像

七色に輝け 豊後大野！
～豊かさを自慢できるまち～

基本目標3

豊かな自然・地域を未来へつなげる

豊後大野市に「ひと」を惹きつける強みとなっている豊かな「自然」や7つの町の魅力や個性が輝く「地域」は、私たちのかけがえのない財産であり、未来の世代へつないでいく責任があります。

豊かな「自然」や「地域」の保全や維持が行われるだけでなく、それらが積極的に活用され、市民が「自然」や「地域」に誇りを持つとともに、市内外にも「自然」や「地域」の魅力が広がり、多くの人々が多様な関わり方で本市を応援することのできるまちを目指します。

基本目標4

最新技術でまちを変える

社会全体でDX化が進展し、行政サービスを含むサービスの提供形態や人々の生活様式等に大きな変化が生じており、新たな提供形態や質の向上に向けて、

「AIやデジタル技術」の活用は必要不可欠となっています。様々な分野で、積極的に「最新のAIやデジタル技術」が活用されることで、付加価値の高いサービスが生まれるとともに、行政サービスの質が向上し、発展と利便性が実現されるまちを目指します。

みらい戦略プランの全体像

構基本

まちの将来像

七色に輝け 豊後大野！ ～豊かさを自慢できるまち～

基本戦略

基本目標1

豊かなくらしとしごとを創る

■ 基本方針1-1

くらしとしごとの希望をかなえる

【具体的な取組の方向性】

1. 戦略的な企業誘致の推進
2. 地域課題の解決や地域資源の活用に資する起業・創業支援
3. 地元事業者の販路拡大やブランド力の向上、雇用創出、事業承継に向けた支援の実施
4. 公的施設における地元からの雇用促進・維持
5. 地域交通インフラの強化
6. 既存インフラの有効活用

■ 基本方針1-2

時代や環境の変化に対応し、持続可能な農林業を目指す

【具体的な取組の方向性】

1. 次世代の担い手の確保・育成
2. 中核的経営体の経営力強化
3. 大規模園芸団地の整備

基本目標2

豊かなひとを育む

■ 基本方針2-1

出会いから子育てまで切れ目なく支える

【具体的な取組の方向性】

1. 婚活支援の実施
2. 産前から産後までを通じた切れ目のない安心して妊娠・出産を行うことのできる環境整備
3. こどもが遊べる場所の充実
4. こどもの居場所づくりの推進
5. 子育て世帯の経済的負担の軽減
6. 親同士の交流の機会の充実や親への子育てに関する情報発信の強化
7. 地域全体でこどもを支える環境整備

■ 基本方針2-2

まちの未来を担うひとを育てる

【具体的な取組の方向性】

1. 未来を拓く教育環境の充実
2. 三重総合高校の魅力化・特色化
3. 地元企業等での職場体験・インターンによるキャリア教育の充実、キャリア形成支援
4. AI、デジタル、防災、インフラ等の各分野における専門人材の育成・確保
5. 多様な体験機会や学習機会の提供

■ 基本方針2-3

全てのひとの可能性を輝かせる

【具体的な取組の方向性】

1. あらゆる地域人材の活躍推進
2. 副業や育児・介護との両立等の多様な働き方の推進
3. 外国人住民が生活に馴染むことのできる環境整備
4. 外国人労働者と企業とのマッチング支援
5. あらゆる差別のないまちの実現

基本目標3

豊かな自然・地域を未来へつなげる

■ 基本方針3-1

豊かな自然と地域を守る

【具体的な取組の方向性】

1. 脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現によるエコでサステナブルなまちの実現
2. 希望の地域に住み続けられる地域コミュニティの維持・構築
3. 文化財・伝統文化の保存・継承と活用
4. 周辺市町村との連携した行政運営の推進

■ 基本方針3-2

まちの魅力でひとを惹きつける

【具体的な取組の方向性】

1. ジオパークやエコパーク等の自然環境を活用した観光の活性化
2. サウナのまちの更なる発展
3. 道の駅を活用した観光の推進
4. 地域資源の新たな可能性の探求と活用
5. 更なるインバウンド需要の取り込み

■ 基本方針3-3

まちの魅力を伝える力を高める

【具体的な取組の方向性】

1. 多様な情報発信手法の効果的な活用
2. 情報発信基盤の強化・充実
3. SNSによる広報の強化
4. 市政に対する理解向上

■ 基本方針3-4

まちとの多様な関わり方を実現する

【具体的な取組の方向性】

1. スポーツツーリズムを通じた地域活性化
2. 空き家の効果的な活用等による多様なライフスタイルの実現
3. 関係人口の創出と活躍人口への深化

基本目標4

最新技術でまちを変える

■ 基本方針4-1

AIやデジタル技術等を徹底活用し、人口減少社会に立ち向かう

【具体的な取組の方向性】

1. 最新のデジタル技術を活用した利便性の高い行政手続きの実現
2. 最新のデジタル技術を活用したサービスの効率化、質の向上
3. ビッグデータやAIの活用による新たな政策形成プロセスの実践
4. 市内全域でのAIオンデマンド交通の実現